

## 2009 AUTOBACS SUPER GT 第7戦 FUJI GT 300km RACE

2009年9月12日(土)~9月13日(日)

### PREVIEW

SUPER GT Rd. 7 富士。開幕から参戦している各チームのウェイトハンデは、これまでの半分になる。ウェイトハンデに苦しんでいた有力チームも息を吹き返し、前戦までとは全く違うレース展開が予想される。ARTAガライヤ、ウェッズスポーツis350、紫電、モーラZ、雨宮RX7のトップ5に加え、今シーズンフル参戦ではないが、出場レース2戦2勝と圧倒的な速さのハンコックポルシェ、そしてここ2戦こちらも圧倒的な速さで目立つダイシンフェラーリの7台による熾烈なバトルが繰り広げられることは間違いない。

そして、本来なら、バトルの一角に割ってはいれる一台となるはずであったR&D SPORTレガシィB4。しかし、鈴鹿で産声を上げたばかりのR&D SPORT レガシィB4には、まだこのバトルに加わるには難しいのが現実だ。兎にも角にも、マシンを決勝レースデビューさせることが先決である。昨シーズンまで、VEMACで参戦してきたR&D SPORTにとって、AWSシステムを備えるSUBARU



レガシィ B4は、未知のポテンシャルを持つマシンと言える。鈴鹿のデビュー戦では、マシン開発期間も短く、マシンの持つポテンシャルを生かしきれていないことに加え、予選開始から数周で駆動系トラブルにも見舞われ、決勝への進出は果たせなかった。

チームは、鈴鹿から3週間あまりの短期間で、トラブルの原因究明とその対策を打つとともに、鈴鹿での僅かなデータを基に、ポテンシャルを引き出し、また耐久性の向上を図ることに努めた。これまでのレース参戦で得た経験、力を最大限に発揮すべく、厚木のファクトリーでは、メカニックの不眠不休の作業がすすめられた。



## ■ 本島監督 コメント



充分ではありませんが鈴鹿から約2週間で出来る対策はすべてして来ました。またしても現場に負担をかけつづける日々が続きましたが、前回の鈴鹿で応援して下さいたスバルファンの方々の気持ちがスタッフみんなに伝わり頑張れたのだと思います。少しでも良い結果を出し、皆様に喜んで頂けるようチーム一丸となり頑張ります！！

戦闘力は十分かといえば応えはNO。十分な準備もできていない。しかし、レースでは何が起こるか誰も予想ができない。作戦とドライバーの実力を持ってすれば、上位進出の可能性はゼロではない。仕切り直しのR&D SPORT レガシィB4 デビュー戦 富士スピードウェイ。秋空のもと富士の麓を心地よく疾走するその姿を、間違いなくファンの目に焼き付けてくれることに期待したい。

2009年9月9日  
SUBARU LEGACY B4  
TEAM アールアンドデースポーツ  
<http://www.rdsport.net/>